



不登校傾向の子どもたちへの支援

2月20日、岡山ふれあいセンターで、中区民児協の研修会がありました。NPO法人あかね代表理事の中山遼氏より「学校へ行き渋りのある子どもたちへの支援」と題した講演でした。中山氏はあかねに小学生の時通っておられ、そのころの自分は何が原因で不登校だったのか、現在活動しているフリースクールの中で見えてきたことなど、ご自身の体験を交えながら次のように話されました。

不登校 原因は、多種多様。中山氏自身当時を振り返っても、なぜ学校へ行けなかったのか、はっきりとした理由がわからない。原因がわからない。特

効薬もない。どうかかわっていいのかと戸惑うが、目の前に不登校の子がいたら「よく見て」「よく聞いて」同じ時間を過ごすことが大事。不登校の理由を問い詰めたり学校へ行かせようとしたりするのはなく、その子の想いや希望、困っていることを知ろうと努めること。

ゲーム依存 ゲームの頻度やプレー時間などコントロールができなくなるゲーム依存と呼ばれる状態の子が見受けられる。ゲーム依存の対応は、原因となっているストレスを知ること、親子の口約束だけではなく、ゲーム機のペアレンタルコントロールを設定するなどシステムを活用すること。

ヤングケアラー 近年社会問題として取り上げられることが多い。対応として家庭を知ること、居場所を作ること、仲間と支えることが必要。令和2年厚生労働省の調査から中学2年生の17人に1人の割合でヤングケアラーがいると推測されている。解決が必要な課題は福祉、医療、教育と多岐にわたるので、かわいそうとか助けてあげたいという同情ではなく、ケアの負担を軽減するための支援やサービスにつなぐことが大切。

今回の講演で「私には居場所がありません。頼れる人がいました。安全基地があったからこそ今生きています。」と話された言葉が印象に残っています。民生委員の一人としてできることは何かを考え活動していきたいと思いました。

民生委員2年目を迎えて

南部 彰 (川東1〜5班)
民生委員は、何をどのように活動してよいか他の委員の方に聞いてもよくわからないので、まずは、自分も初老ではあります。地域の高齢者、子どもたちに積極的に挨拶することになりました。また、民生委員としてスキルアップを図るため、研修会等に参加しようと思っています。



齋藤文人 (湊5〜7組)

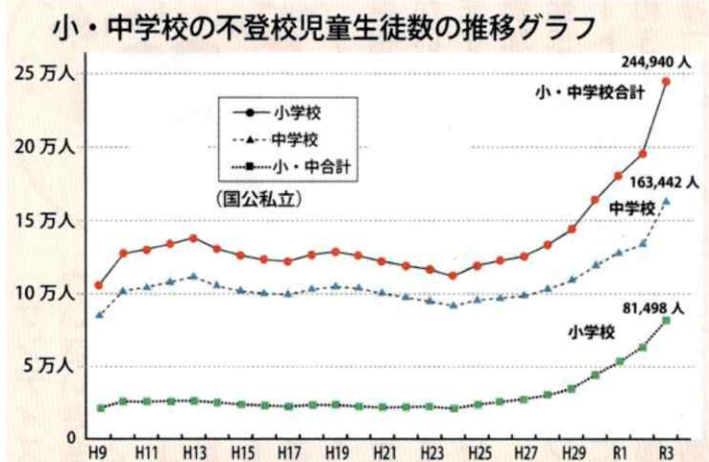
2年目を迎え振り返ってみると、最初は何をすればいいのか不安でしたが、民生委員の先輩から無理をしないのできることをと、助言をいただき、少し無駄な力がとれたことを覚えていきます。現在少しわかったことがあります。それは、先輩方が地域のお年寄りや子どものために様々な活動をされていることです。私も負けないように地域のためにできることをゆつくり少しずつやっていこうと思っています。

伊原隆子 (湊8〜13組)

民生委員を受けて1年半が経過しました。訳も分からず毎月の会議や研修、地域のふれあい行事への参加など経験させていただきました。これからも先輩方のご指導を受けながら頑張っていきます。

金谷純子 (国富田・あすなろ)

民生委員として2年目になりました。1年目は右も左もわからずただ会議やさまざまな行事などに参加させてもらい、先輩方の姿を見させていただきました。2年目に入り、これからは地域に根差した活動ができればと思っています。



令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について (文科省)

健康で生きがいのある生活の実現をめざして 「サンディスク操南台町内会の活動紹介」



あっ晴れ! もも太郎体操



スマイルセミナー

会員相互の親睦をはかり、健康で生きがいのある生活の実現を目指しています。もちろん65歳未満の方の行事参加も歓迎しています。
発足以来、数々の講演会やコンサートを主催してきました。さらに令和3年より「あっ晴れ!もも太郎体操」も行っています。こうした活動を大きく4つに分けて紹介いたします。

健康増進

「あっ晴れ!もも太郎体操」(第1・2・4火曜日、第3水曜日10時)、健康セミナー・講演会

サンディスクいきいき会は平成23年2月に65歳以上を対象に発足し、現在166名で構成されています。



ふれあいまつり



新年会

親睦交流 新年会、お花見会、町内会主催「ふれあいまつり」への協力



ウクライナ支援の調べ

山陽新聞記事より



ウクライナ支援演奏会

法律セミナー

教養向上 音楽コンサート、防災勉強会



通学路清掃



社会福祉 春と秋の一斉清掃、三世交代活動(通学路清掃、子ども会主催「子ども会リサイクル」への支援)

「ふれあい配食をしました」
1月14日と3月3日に80歳以上で一人暮らしをされている方々に配食をしました。配布する164人分のお弁当を準備して、平井小学校の児童が書いたお手紙を添えて各町内の愛育委員が配布しました。毎年お弁当と児童のお手紙を楽しみにされている方が多くおられます。配食することで安否確認や相談を聴くことができる大切な活動の一つです。



「自然の中で平井プレイパーク」
4月21日(日)成徳学校の裏山で「平井プレイパーク」が開催されました。民生委員・主任児童委員は安全に遊べるよう見守りを行いました。2歳から小学生までの親子連れが小雨パラつく中を人気の宝探し・的あて・ロープブランコ・段ボール滑り台・暗夜行路等で楽しみ、なかでも木材の端材で作る木工工作が人気でした。子どもたちは普段遊ぶことがない遊びを自然の山の中でのびのびと経験し、楽しい時を過ごしました。



こんな活動しています
「平井幼稚園3歳児の補助ボランティア」
4月24日より平井幼稚園で3歳児の補助ボランティアが始まりました。9時~11時頃まで幼稚園生活に慣れない園児たちと一緒に遊び、排泄の介助等を行います。年少組の先生と連携しながら手を出し過ぎずに可愛い園児たちを見守っています。

